

平和事業に関する調査結果

【第1回アンケート】

戦後75年が経過し、戦争体験者が少なくなる中で、戦争を知らない世代に戦争の悲惨さ、平和の大切さを伝えていくことが求められています。今回、市民の皆さまからご意見をお聞きし、今後の平和事業に役立てていきたいと考えています。

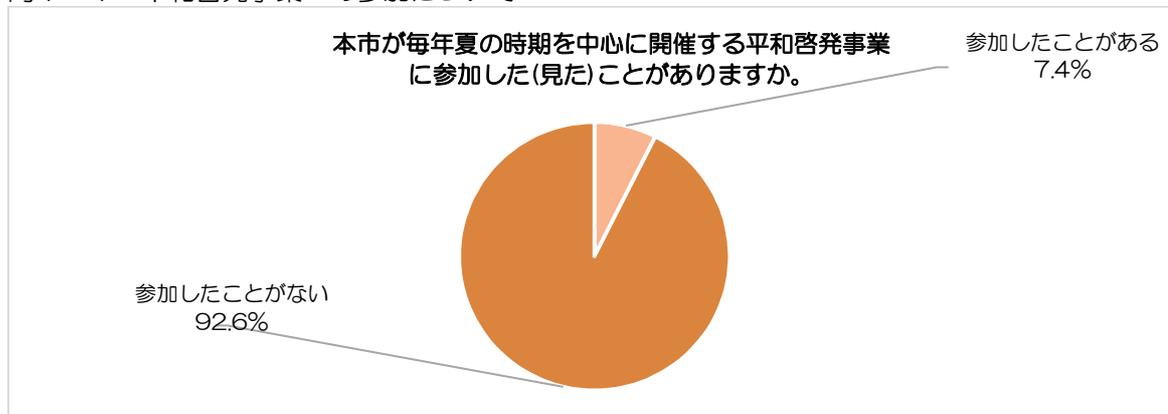
ご回答いただいたモニターの皆様、ご協力ありがとうございました。

- 調査期間 令和2年5月27日から6月10日まで
- 設問数 8問（分岐設問を除く）
- 有効回答率 94.9%（有効回答者数 94人）
- 有効回答者の構成割合 男性：49.5%，女性：50.5%
（20歳代 16.0%，30歳代 19.1%，40歳代 22.3%，50歳代 21.3%，60歳代以上 21.3%）

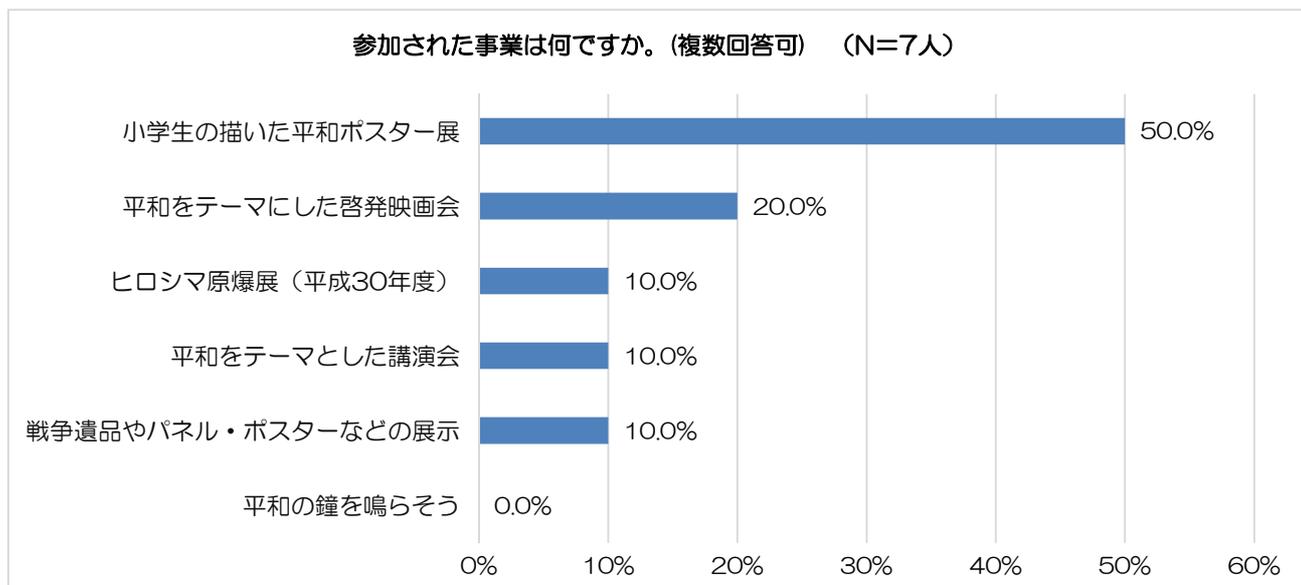
図表中のN値は、分類別回答者数を表示します。

【アンケート結果】

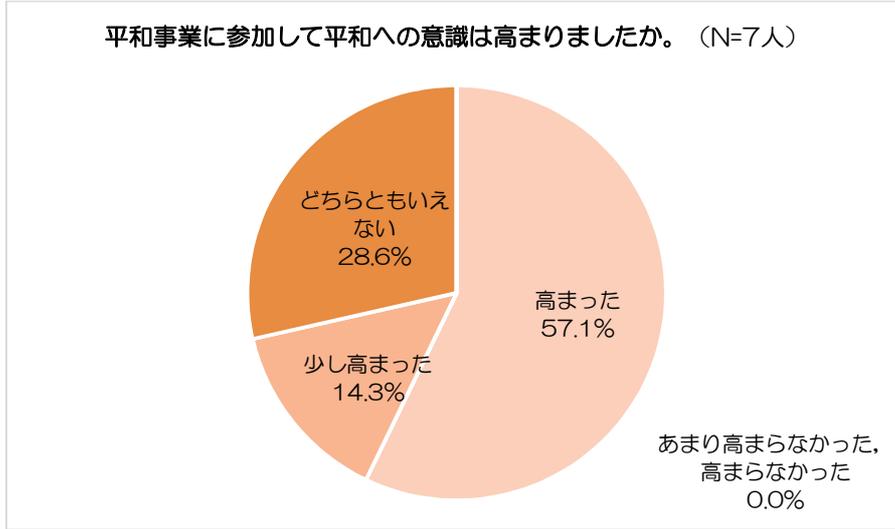
問1-1 平和啓発事業への参加について



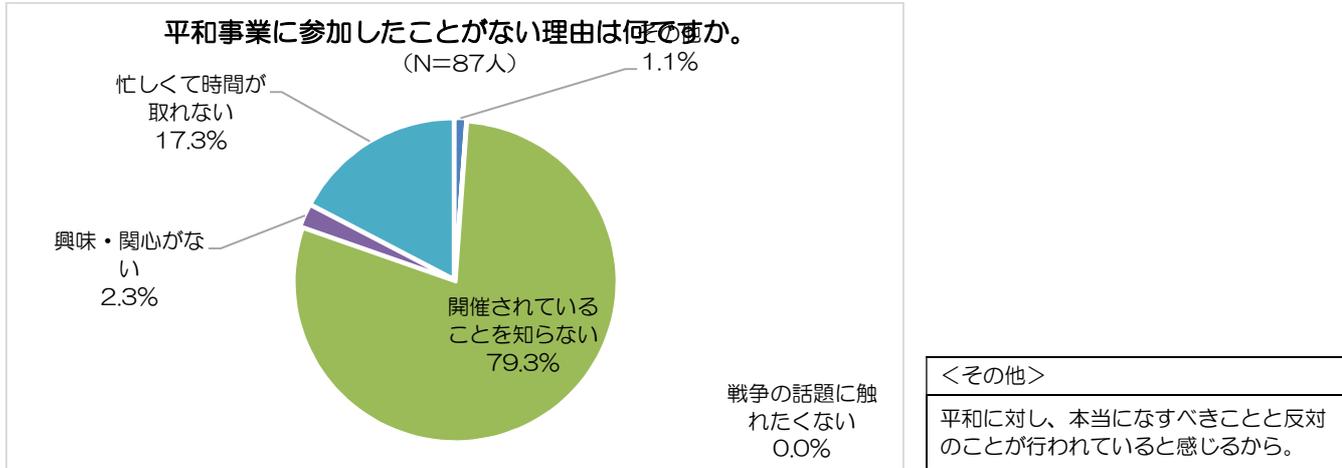
問1-2 参加された事業について（問1-1で「参加したことがある」と回答された方）



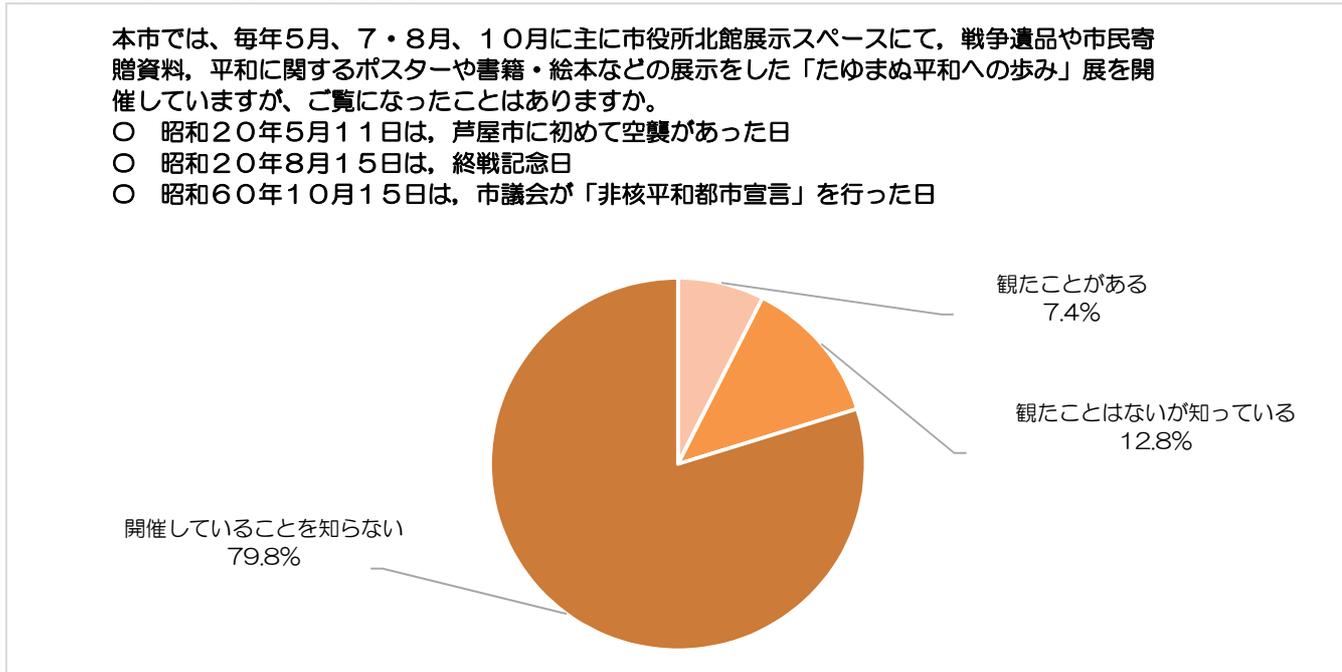
問 1-3 平和への意識について（問 1-1 で「参加したことがある」と回答された方）



問 1-4 参加したことがない理由について（問 1-1 で「参加したことがない」と回答された方）



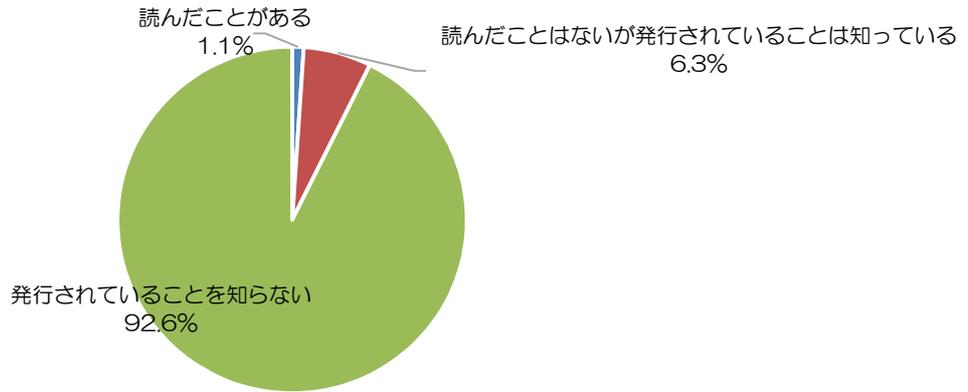
問 2 「たゆまぬ平和への歩み」展について



問3-1 記録集について

本市では、記録集を発行し、ホームページにも掲載していますが、知っていますか。

- 芦屋市平和記録集「たゆまぬ平和への歩み」 (平成29年3月発行)
- 芦屋市戦争体験記録集「未来へつなごう戦争の記憶」 (平成30年3月発行)
- 芦屋市平和記録集「語り継ごう平和への想い」 (平成31年3月発行)

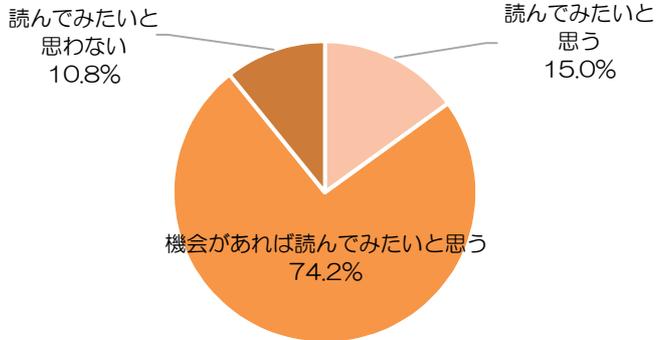


問3-2 問3-1で「読んだことがある」と回答された方
記録集を読んで平和への意識は高まりましたか。(N=1人)

高まった 1名

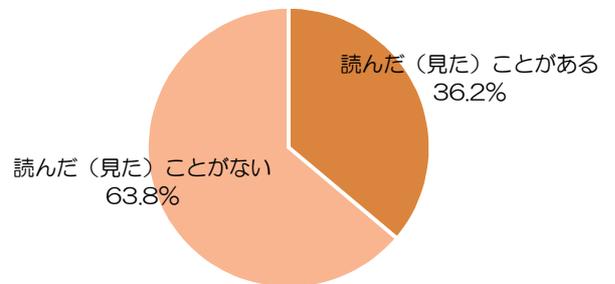
問3-3 記録集について(問3-1で「読んだことはない」が発行されていることは知っている「発行されていることを知らない」と回答された方)

今後、記録集を読みたいと思いますか。
(N=93人)



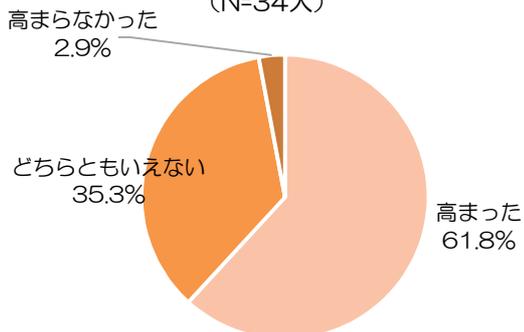
問4-1 平和に関する「広報あしや」、「広報番組」について

本市では、夏の時期を中心に、広報あしやや広報番組で平和に関する内容を掲載(放映)していますが、読んだ(見た)ことはありますか。



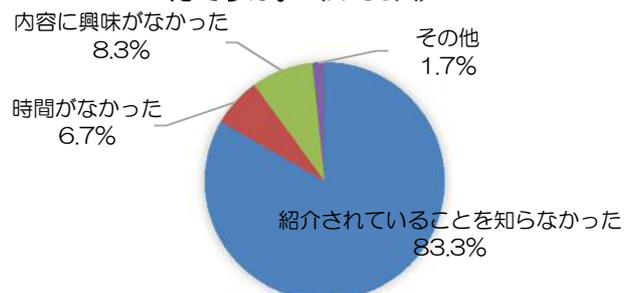
問4-2 平和への意識について(問4-1で「読んだ(見た)ことがある」と回答された方)

平和への意識は高まりましたか。
(N=34人)



問4-3 読んだ(見た)ことがない理由について(問4-1で「読んだ(見た)ことがない」と回答された方)

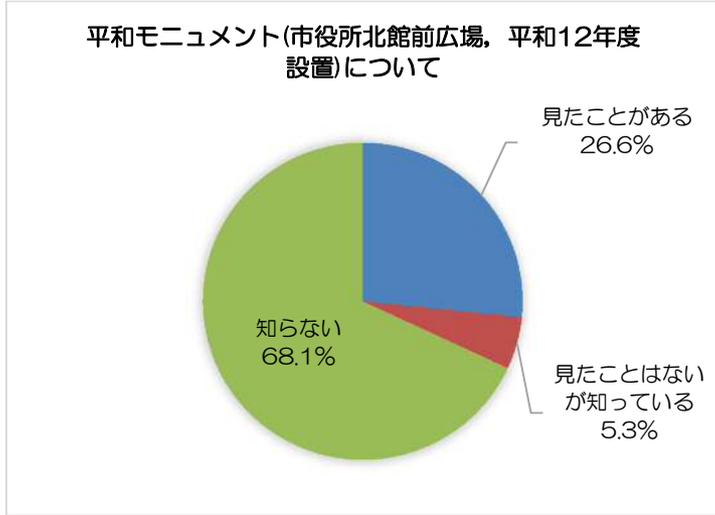
読んだ(見た)ことがない理由は
何ですか。(N=60人)



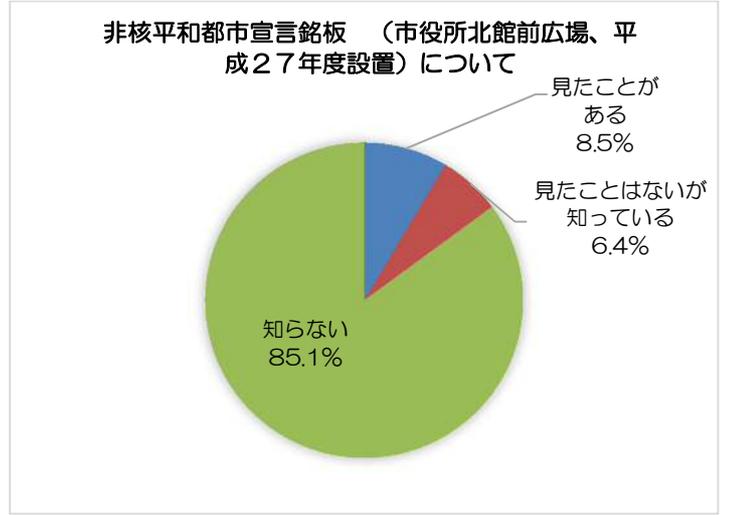
<その他>

平和に対し、本当にすべきことと反対のことが行われていると感じるから。

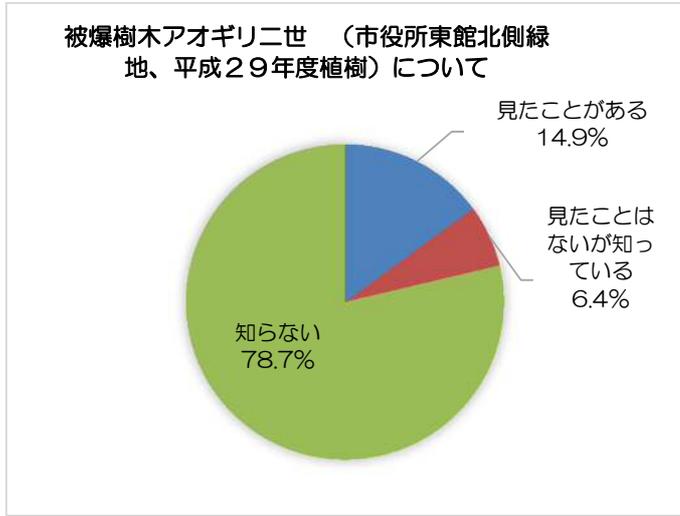
問5-1 本市にある平和のシンボルを知っていますか



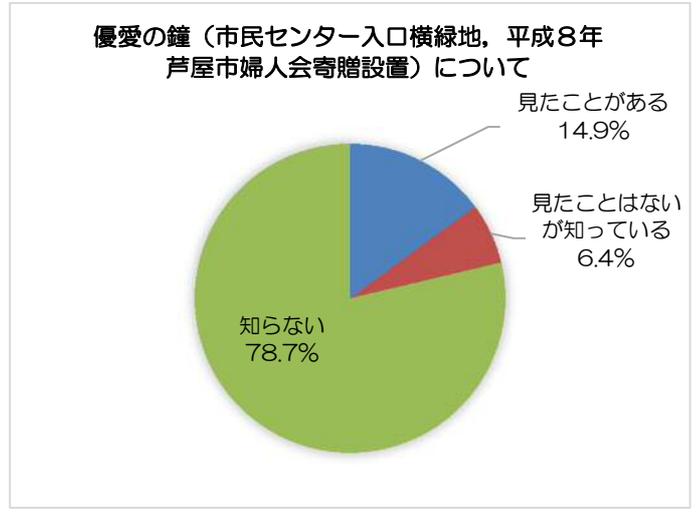
問5-2 本市にある平和のシンボルを知っていますか



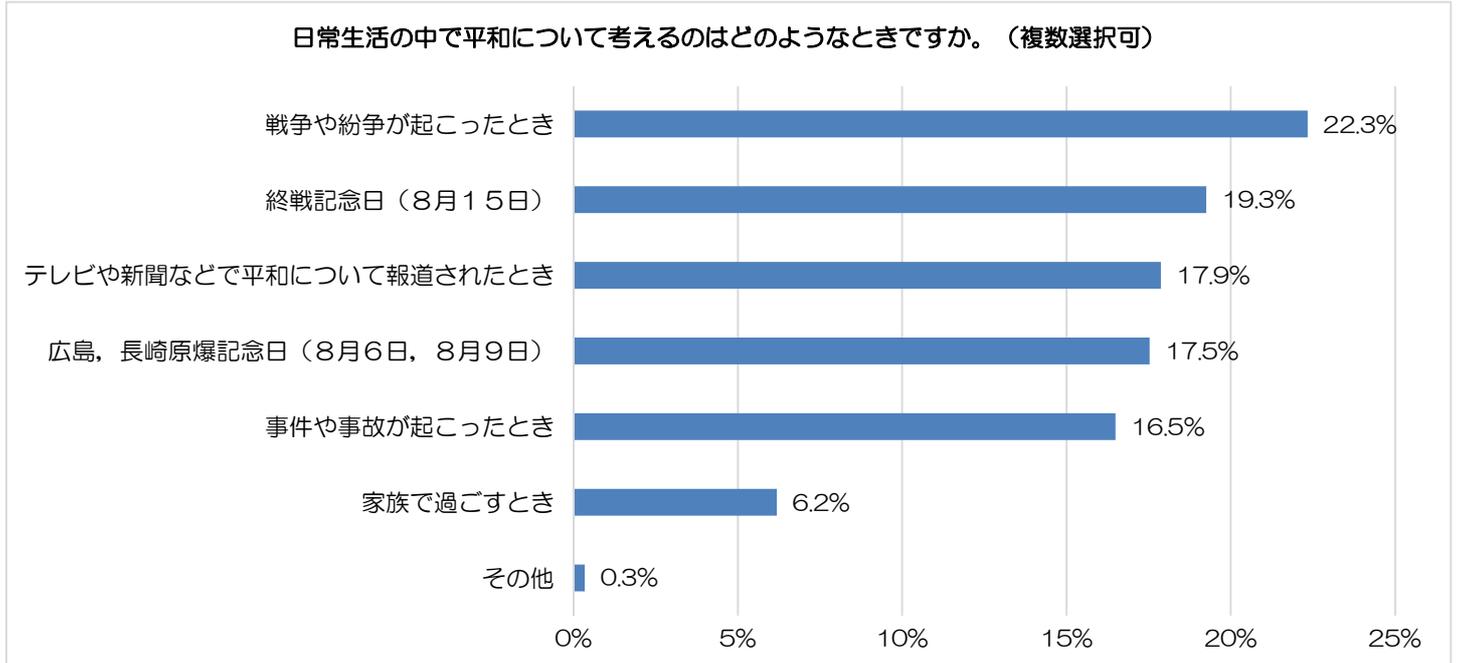
問5-3 本市にある平和のシンボルを知っていますか



問5-4 本市にある平和のシンボルを知っていますか

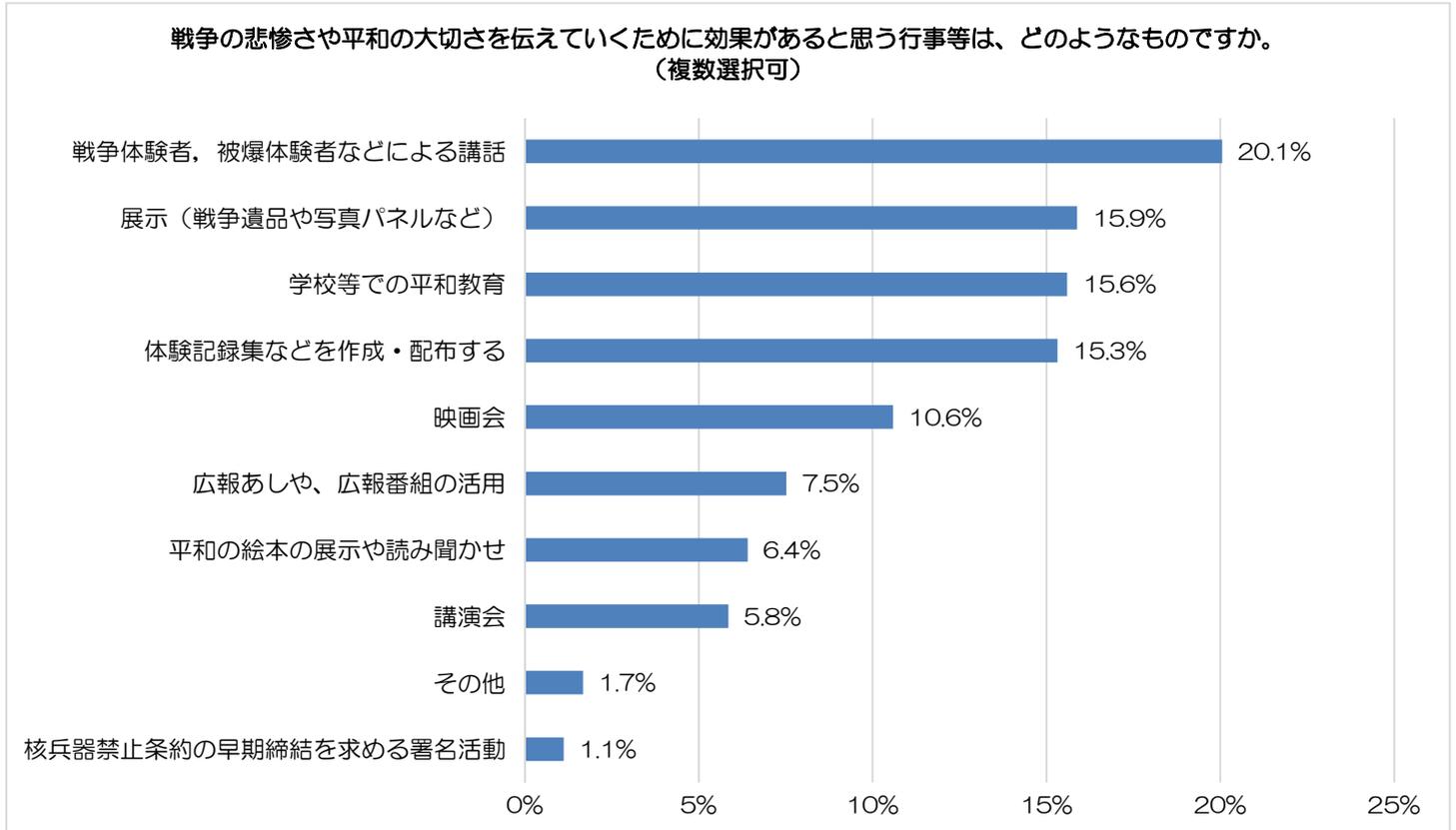


問6 平和について考えるとき



<その他>
いつも、平和だから。

問7 戦争の悲惨さや平和の大切さを伝えていくために効果がある行事について



<p><その他></p> <p>思いやりの気持ち。</p> <p>平和イコール戦争放棄では無い。自らを、又は家族を守るためにやらなければならない事を分けて考えなければならない。侵略行為を対話だけでは解決出来ない事を教えるのも教育である。</p> <p>立て看板。</p> <p>平和を守るために本当に必要な国防の備えなどについての啓蒙活動。</p> <p>日本の戦争は日本人を悲劇のヒーロー的に表現しているのと、時代にマッチしておらず緊迫感や悲壮感が伝わらない。世界に目を向けて、ロヒンギャ虐殺、シリア、クルド、アフリカ等の新しい形の戦争殺戮に目を向けてほしい。</p> <p>テロやデモや戦争状態にある国の様子をもっと知らせ、今の日本の平和について感じ、世界全体で戦争を無くすよう、活動していく。</p>

問8 平和についてのご意見（自由記述） 35人の方からご意見をいただきました。

年代	平和についてのご意見
20代	よほど平和意識の高い人でない限り、若者が自ら平和事業に関わることはない。しかし、若者も平和を望んでいることは変わらない。そのため、学校教育などで必修のタイミングを少しだけ与えるのがいいのではないかな。
20代	学校での平和教育はとても心に残っているが戦争でどれだけ多くの人が死んだか、どれ程の街が焼けたか、戦争の結果しか記憶に残っていない。結果を見て戦争は悲しいこと悪いことだと言う意識はあるが、何故戦争が起こったのかの記憶はほとんどない。結果より過程に趣を置いた学習の方がより平和としての学習になると思う。日本は原爆などの被害者だったという知識はあっても、他国にとっては加害者だったということもよく知るべきだと思う。
20代	みんな大変だったんだと思いました。体験はしたことは無いけど話を聞いて戦争は絶対やらなくていいと思いました。
30代	式典をきっかけに平和について考えたことはありません。自分に関係していることだと認識しづらいからだと思います。戦争を過去のものとして扱っている気がします。戦争はこれからも起こり得ることですし、どんなことがきっかけで戦争が起こるのか、戦争を抑止し平和を維持することがどんなに困難かについて考える機会があればと思います。また、戦争での被害を伝える番組は多いですが、戦争でどんな酷いことをしてきたのかは、あまり語られないのが引っかかっています。敗戦国ではあっても、一方的な被害者ではありません。加害者でもあるのですから、その償いは世代を超えてしていかななくてはならないのでしょうか。ドイツのような戦争教育を日本でもできたらいいと思います。
30代	戦争体験者が生存されている間にできることは、少しでも多くやっておくべきだと思う。

年代	平和についてのご意見
30代	平和であることは大変にいいことであるというのはわかっているが、日々平和であるからか、「平和について意識すること」はほとんどない。私は歴史などがあまり好きではないので、過去に目を向けて（そのおかげで）今の平和があることを重視するよりも、今後、平和を維持するために何をすべきか考える機会があればよいと思う。
40代	展示など日程を分かりやすくお知らせしてほしい。
40代	講演会等をweb上で期間を区切って公開してもらえると見たいと思います。
40代	小学生でもちゃんと絵本などでの読み聞かせの機会があったり、修学旅行で広島に行き、事前学習もしています。夏にはテレビでも映画や特集などありますし、小学生は学ぶ機会が比較的多いと知りました。毎年大きなイベントをされている様ですが、誰にどの世代に向けたイベントなのかな？と思います。やはり若い人は、なかなか日中の市のイベントの参加は厳しいと思いますが、芦屋市の記録集がある事で、知りたくなった時に閲覧が可能な状況を作って頂ける事や記録集がありますよ！と言う発信をし続けて頂けるといいのかなと思いました。また今の時代に合った平和教育ってどうしたらいいか、専門家の意見を聞く機会があれば良いなあとは思いました。
40代	亡くなった祖父母が戦争体験者でした。存命中は戦争のころの話を何度か聞き、身近な人の体験はとても衝撃的であったことを子供心に覚えています。戦争体験者が少なくなっている中で、そういった方々の記憶を残していくことは大事ではないかと思います。
40代	事件や事故が起こった時に、平和であることのありがたさを強く感じます。子供達に平和であることが当たり前だと思わずに、平和であることは本当にありがたいことだと思わせるような教育を行うことが大切だと思います。
40代	学校での平和教育により思い出がありません。恐怖心を植え付けるようなものはやめてほしいです。
50代	日本人にはもう平和事業など必要ないと思う。そういうことに税金を投入しないでほしい。
50代	私の父は予科練から知覧で(特攻隊の生き残り)終戦を迎えました。しかし、この事実を知らされたのは父が亡くなる数年前です。体験者の話は心に響きます。
50代	実際に戦争を体験された方(記憶のある方)は、若くても70代後半の方で、そのお話を聞くことができる時間は限られていると思います。映像や写真・資料に合わせ、戦争の悲惨さや平和の尊さを、その実体験から聞かせて頂けるような機会があればと思います。
50代	このたびの新型コロナ感染により、通常の生活がいかに尊いものか身に染みて分かったと言われる方が多いです。戦時中ではもっと不便な生活だったに違いありません。それに耐えたその時代の人たちは本当に凄いと実感しました。今までと違う生活に変わっていくという事態が自身に起こったことで、平和とはもろいものだと認識しました。
50代	戦争体験者の高齢化により、話を聞く機会が減っています。ドキュメンタリー映像などでも心に響くように思います。
50代	いつまでも空襲に固執せず、民族浄化はなぜ起こるか？等の高度な問題で市民が意見交換出来ればと思います
50代	今ニュースでアメリカの警察官による黒人殺害で暴動が起きているのをよく見るが、人種差別がなくなれば戦争がなくなるのと思う。トランプ大統領の対応も良くないと思います。オバマ大統領が良かった。
50代	生まれてから平和な時代に生きていると、戦争をリアルに感じられない。ゲームの世界で戦っても痛くないすぐに、生き返る。そんな世代の方に、平和を感じてもらうには、日本と違う国の現状を見せ花試合感じ合わないと、日本の過去のことばかり伝えても歴史の中の話に感じてしまうのではないかと思う。
50代	平和であることが当たり前になりすぎている日本ですが、世界情勢が混とんとすれば大きな影響を受けることになります。サヘルローズさんとか、戦争の悲惨さを知り、日本で語り続けてくれる人がいることも大事なことだと思います。
50代	戦争は、悲惨だからしてはいけないとか、憲法で禁止されているからいけないとか、規制によって、平和を実現しようとしているのでは、いつまでも平和はこないと思う。その様なプロパガンダが多い様に思う。それは、強制するものではなく、自らの中から湧き出るものでなければならない。その様な、平和教育でない、教育を望む。隣人を愛せよ、だと思ふ。
60代	なかなか、改めて考えていないが、終戦記念日には、想いを寄せたい。
60代	戦後教育のあり方について、考え直す事が重要。多くの日本人が愛国心に欠ける。アメリカに対しての批判は許されが、中国、韓国に対しての批判はヘイトスピーチと取られがちだ。正しい歴史認識を国を挙げて教育すべき。
60代	やはり、戦争体験者や被爆体験者の話をテレビ番組で観たい。
60代	戦争を知らない平和ボケと言われても、戦争は絶対にいけないということをみんなでいつも考えていけばいいと思います。
60代	平和という言葉は全人類が願う文字悲惨な戦争核実験製造等未だに続いている。悲しい！
60代	憲法の冒頭にある「平和を愛する諸国民」というのは、東アジア周辺には存在しない。この憲法の前文が虚構である以上、戦争放棄などと叫んでいたのでは国が亡びる。滅んでから平和平和と叫んでも誰も助けてはくれない。
60代	平和の事はつい忘れがちですが改めてアンケートで考えさせられました。どんどん映画とか、絵本で子供達にも伝えていって欲しいです。
60代	戦争がなぜ起こって、戦争で何をなくして(失って)、終戦後の後遺症が何か、現在がどうかなど正しい知識を幼い時から教える事が大事だと思います。
60代	平和を当然のように思っている子供たちに平和の大切さを教えてもらいたい。
60代	私は60代ですが戦争の体験は親から何度も聞かされました。話が始めるとまたかという感じでしたが親が亡くなり戦争の話を聞く機会が全く無くなりました。今回のアンケートで展示会などがある事を初めて知りました、機会があれば見てみたいと思います。
60代	平和について芦屋市がこんなにたくさん取り組んでいることをしらなかつたので、今後は少しずつでも関心をもって、広報などを読んでいきたいと思いました。

年代	平和についてのご意見
70代	平和を希求することは、大切であるが、過去の体験をなぞるだけでは意味がない。70数年前とは様々な面で大きくかわっているからです。それよりも、現下に行っていること 即ち「もりかけ」もんだい、財務省、厚労省の対応等政府や内閣に対する不信感こそが、将来、わが国において一大事が発生したとき、問題になり、その延長線上に「平和」があると考えます。
70代	「戦争はしてはいけない」ということを、次世代に伝えていきたいと思います。